



令和5年度 橋本市立高野口小学校スクールプラン

橋本市教育大綱(理念)

人が学びあい、共に育ちまちづくり

—自治と協働のまち橋本市に向けて—

- 豊かな心と健やかな体を育みます
- 家庭教育・学校教育・社会教育の中で多様な学びを育みます
- 地域・家庭・学校が連携した教育力を育みます

学校評価

- ・ユネスコスクールとしてESDの視点を取り入れた学校運営方針が先生や児童にも徐々に浸透してきている。
- ・心の教育に「ふるさと学習」が大きな役割を担っている。
- ・家庭と学校の関係の良さがアンケートに表れている。
- ・HPを通して日々の学びの様子を家庭に知らせていることが、学校への信頼向上につながっている。
- ・子どもたちの自己肯定感向上のため、学校、保護者、地域のさらなる連携が必要だと思う。学校関係者と教職員の関係も大切にしたい。
- ・先生方が一生懸命子どもたちのために努力している姿勢を大いに評価したい。
- ・素敵な学校だと思う。協力者の力を借りてもっと 모두가幸せになる学校となることを願う。

学校教育目標

未来を創る子どもの育成

最上位目標

自分で考え判断し行動する力(主体性)を育む

めざす児童像

- 自ら考え、すすんで学び、表現する子
- 目標をもって努力を続ける子
- 心優しく思いやりのある子
- 学校や地域に愛着と誇りをもつ子
- 「**やってみよう・ありがとう・なんとかなる・ありのままに**」Well-beingの4因子を大切にできる子

児童の実態

- ・明るく元気で人懐っこい子が多い
- ・多くの友だちがいる
- ・与えられた指示は熱心に行う
- ・規律や礼儀正しい子が多い
- ・**将来の夢や希望を持った子が少ない**
- ・自分で考え行動する力が弱い
- ・粘り強く取り組むことが弱い
- ・**読む力書く力が弱い**
- ・**学び合う力が弱い**
- ・**家庭での読書量が少ない**
- ・**自己肯定感の低い子が多い**

保護者・地域の願い

- ・安全で明るく楽しい学校生活を送ってほしい。
- ・子どもの学力を伸ばしてほしい。
- ・思いやりのある優しい子になってほしい。
- ・自信を持って努力を続ける子になってほしい。
- ・学校・家庭・地域の連携をさらに深めたい。



SDG 4 質の高い教育をみんなに

重点目標

具体的方策

評価指標

確かな学力の向上

- ・**研究主題**
主体的な学びの姿をつくる、系統的な国語科学習のあり方～教科横断的な「書く力」につながる読む力の育成を目指して～
- ・組織的な研究の推進
- ・学習指導要領の趣旨を踏まえた授業研究
- ・基礎学力の定着
- ・家庭学習習慣の定着
- ・学習規律の定着
- ・読書習慣を育む活動の推進
- ・カリキュラム・マネジメントの研究
- ・**ESD/SDGsの推進**

豊かな心の育成

- ・道徳教育・人権教育の充実
- ・生徒指導・教育相談の充実
- ・児童理解と個を大切にしたい教育の推進
- ・縦割り活動の推進
- ・ふるさと学習の充実

健やかな体の育成

- ・体力づくりの推進
- ・食育の推進
- ・基本的生活習慣の確立
- ・学校安全の徹底

信頼される学校

- ・学校・家庭・地域・関係機関との連携
- ・共育コミティーとの協働
- ・コミュニティ・スクールの推進
- ・防災教育の推進

- ①学力向上推進プランの実施
- ②校内研修の充実による教員の指導力・学級経営力の向上に努める
- ③「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善に取り組む
- ④朝学習の充実と補充学習の充実を図る
- ⑤家庭学習習慣の定着と充実を図る
- ⑥外国語・外国語活動、ICT教育の推進を図る
- ⑦学校図書館を活用した授業と読書活動の推進に取り組む
- ⑧カリキュラム・マネジメント研修を行いESDに学校全体で取り組む

- ①「思いやりの心」を持った優しい子を育てる
- ②**言葉を大切にし、互いの違いを尊重する人権感覚や人間関係を育てる**
- ③態度教育(挨拶・返事・立腰・履き物揃え・食事のマナー)を推進する
- ④仲間づくりを進め自己有用感や自己肯定感を育てる
- ⑤ふるさと学習を中心にESDを進める中で、郷土を愛する子を育てる

- ①体育の授業を中心に体育的行事等を通して体力づくりの推進・強化に努める
- ②学校と家庭が連携して基本的生活習慣の定着(早寝・早起き・朝ご飯)を図る
- ③食育全体計画をもとに給食指導を柱とした食育の推進
- ④安全教育の推進と充実を努める

- ①学校だより・学年通信やホームページ、授業公開等による家庭や地域への情報発信
- ②学校運営協議会の活動の充実
- ③地域の教育資源を発掘し、連携・交流を深めることで、互いに活力となるよりよい学校づくり・地域づくりを推進する
- ④地域の防災についての学習を深める

- ・学力向上推進プランをPDCAサイクルで取り組む
- ・校内研修や研究授業を計画通り実施している
- ・「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業に取り組むことができたか自己評価を行う
- ・個々の課題に沿った補充学習を定期的に行っている
- ・復習継続法を含め、家庭学習の習慣が定着している
- ・朝の読書を充実させ子どもたちの読書の時間を増やすことができています
- ・全国学調、県学習到達度調査で全国・県平均を上回る
- ・生活科・総合的な学習の時間を中心に、課題解決学習に取り組んでいる
- ・タブレットの有効活用を努めている
- ・**ESDカレンダーをブラッシュアップできている**

- ・**適切な言葉遣いができている**
- ・年間指導計画に基づいて道徳の授業を実施している
- ・いじめの未然防止、早期発見・早期解決に努めている
- ・友達の良さを見つけ合ったり、認め合ったりできる学級集団づくりに努めている
- ・態度教育に努めている
- ・縦割り活動で異学年の良い交流がうかがえる
- ・ふるさと学習をESDの視点で実施している
- ・SDGsに関心をもち、児童と共に目標達成に努めている

- ・体育の授業では運動量を確保し、めあてを持って学習する指導を行っている
- ・全国体力・運動能力調査で全国・県平均を上回る
- ・アンケートの結果をもとに家庭と連携して基本的生活習慣の定着を図っている
- ・栄養・マナー等、食に関する指導の充実を図っている
- ・安全教育の充実を努めている

- ・HPや学校だより等を通して、家庭や地域に学校の様子を積極的に発信している
- ・学校運営協議会の活動が充実しており、学校運営に生かされている
- ・ふるさと学習を中心に地域の方々の協力を得ると共に地域のボランティア活動に児童が積極的に参加している
- ・地域防災に関心をもち、学校全体で防災教育を進めている

目指す学校像

- ・子どもにとって毎日行きたくなる学校
- ・保護者にとって通わせたい学校
- ・地域にとって応援したい学校
- ・教職員にとって働きたくなる学校
- ・来校者にとってまた来たい学校
- ・・・・そしてずっと居たい学校

令和5年度 スローガン ~みんながもっとWELL-BEING